

月刊 ととろ



独立行政法人国立病院機構
いわき病院

第222号

令和5年2・3月発行

National Hospital Organization Iwaki National Hospital

信条

- ◆ 患者さま本位の医療を行います
- ◆ 患者さま及び家族の生活を大事にします
- ◆ 科学的根拠に基づいた質の高い医療を提供します



豆まき会とひな祭り会

病棟別で豆まき会とひな祭り会を行いました。2月2・3日の豆まき会は、1病棟では鬼と一緒にアレンジポッチャゲームを行い、鬼と仲良しになりました。2病棟ではさまざまな鬼が登場し、汗だくになる程の白熱した豆まき会になりました。3月2・3日のひな祭りは、1病棟では、ひな祭り仕様のフリスビーゲームを行いました。2病棟では、患者様がお内裏様・おひな様に変身し、素敵なタペストリーを背景に写真撮影をしました。

保育士：鈴木 萌日



嘔吐物の処理手順について

外来看護師長：琴畑 利昌

新型コロナウイルス感染症に関するルールが、この春から大きく変わります。5月8日から第5類感染症に引き下げられます。それに先立ち、3月13日からは、マスクの着用が基本的には個人の判断に委ねられます。ただし、病院受診時や病院、高齢者施設等の職員、面会時はマスクの着用が推奨されています。ここ数年、新型コロナに注目が集まっていますが、そもそもマスクの着用は新型コロナに限ったことではありません。風邪、季節性インフルエンザなど空気感染や飛沫感染の予防にとっても重要です。

今回は冬が流行期であるノロウイルスや流行性胃腸炎についてお話をさせていただきます。どちらも急激な嘔吐や下痢が特徴ですが、吐物やトイレの清掃がとても重要です。ご家庭でこのような症状がみられた場合には、ノロウイルスへの感染を疑って対応する必要があります。ノロウイルスはとても厄介なウイルスです。アルコールでは死滅しないため、手洗いをしっかりと行うことと次亜塩素酸（ご家庭ではハイター）での消毒が重要になります。

では、具体的な嘔吐物の処理手順について、説明していきます。



1. 換気

窓を開け、浮遊するウイルスや塩素の刺激臭を外に出します。

2. 処理前の準備

マスク、ゴーグル、エプロン、ゴム手袋、※髪の長い方は、ヘアゴムや帽子、靴カバー（ビニール袋で代用可だが、滑るので注意が必要）を着用する。

3. ハイターを水で薄め、溶液を作る。

0.1%次亜塩素酸ナトリウムは、2L のペットボトルに50 ml のハイターを入れ、次に水を容器いっぱいに入れます。

4. 吐物の処理

ペーパータオルで嘔吐物を広く覆い、0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液を静かに注ぎ、10分以上放置します。その後、嘔吐物をペーパータオルごと外側からかき集めるように回収して、ビニール袋へ入れます。



5. 床掃除

ペーパータオルに 0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液を染み込ませ、床全体を拭き上げます。

6. 後始末

手袋、帽子、マスク、エプロンを外し、ビニール袋へ入れます。その後、ビニール袋内にも 0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液をかけ、袋内の空気を抜いて固く縛ります。

最後にそのビニール袋をもう一枚のビニール袋へ入れて二重にし密閉する。

7. 手洗い

丁寧に2回程度手洗いを行い、しっかりと流水で洗い流します。

8. その他

便座やドアノブ等感染者が触れたところも 0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液で消毒ができます。嘔吐物が付着した衣類などは、100 倍に薄めた塩素系漂白剤に 5～10 分（色落ちするものは 85℃以上の熱湯に2分以上）浸せば消毒できます。消毒後は普通に洗濯をすれば大丈夫です。

ご家庭で感染者が出た場合には、ぜひ参考にしてください。



防災訓練を実施しました

第2病棟 副看護師長：須藤 貴之

令和5年2月15日、今回は初めて地震による火災発生を想定した防災訓練を実施しました。いわき地区では地震が多いため、実際に起こりうるものが十分予想される設定であり、実際に訓練を終えて、他部署との連携、スタッフ間のコミュニケーションと基本となる部分の重要性に改めて気づくことが出来ました。

また、火災発生した場所の真上の階にある病棟の患者さんを搬送する想定で6名の模擬患者を搬送し、実際に入院されている患者さんのように、人工呼吸器や栄養チューブを取り付けた状態で搬送訓練を行いました。6名の模擬患者を搬送するだけでも人員と連携が必要であったため、このような避難訓練を重ねてイメージをすることが重要だと感じました。

今回参加できなかったスタッフも多数いるため、回数を重ねていき、いかなる時でも迅速に対応できるようなスキルを身に付けていくことが、患者さんの安全・自分の安全を確保することに繋がると思いました。



自己紹介

2月から外来で勤務しております、看護師の鈴木佳代子です。

勤務を始めて1ヶ月が経ちました。リハビリに力を入れていることや地域連携との関わりが多くあると感じました。外来での仕事は慣れないこともありますが、一人一人に合った看護を行い、患者さんが安心して受診出来るよう日々努力して参ります。

どうぞよろしくお願ひいたします。

看護師

鈴木 佳代子

2月21日付で第2病棟に採用となりました野崎です。

私の趣味は、旅行や散歩で、休日には近場のキャンプ場や公園など良く出かけています。始めた頃は行き当たりばったりでしたが、最近では下調べをしっかりと楽しんでる場所になっています。この計画性を、仕事にも活かしていきたいと思っています。

よろしくお願ひいたします。

療養介助員
野崎 恵



NHO PRESS ~国立病院機構通信~

いわき病院は、全国 140病院からなる国立病院機構 (NHO: National Hospital Organization) のひとつです。

NHO では各病院の活動を紹介する『NHO PRESS』を発行しています。

外来待合室などに設置しています。ぜひご覧になってください。

国立病院機構ホームページでは最新号と過去の『NHO PRESS』を掲載しています。



QRコード

NHO PRESS 検索

いわき病院の診療体制等について

- 診療科目 内科、脳神経内科、外科、脳神経外科、小児科 (小児神経疾患)、リハビリテーション科
- 外来受付 8:30~11:30 (ただし、急患につきましては電話にてご相談下さい。)
- 診療時間 8:30~17:15

外来担当医師診療日程表 【令和5年4月~】

区分	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
午前	内科 診察① 鈴木 栄 診察② 尾澤 康彰	内科 診察① 鈴木 栄 診察② 尾澤 康彰	内科 診察① 鈴木 栄 診察② 佐藤 宏	内科 診察① 鈴木 栄 診察② 佐藤 宏	内科 診察③	
	脳神経内科 診察③ 尾田 宣仁 診察① 尾田 宣仁	脳神経内科 診察③ 尾田 宣仁 診察① 尾田 宣仁	脳神経内科 診察③ 尾田 宣仁 診察① 尾田 宣仁	脳神経内科 診察① 尾田 宣仁 診察③ 尾田 宣仁	脳神経内科 診察① 尾田 宣仁	
	外科			外科 診察② 田崎 博		
専門外来 (完全予約制)						
午後	区分	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
専門外来 (診察室①)	第2・第4週のみ (小児神経外来)	柳沢 俊郎		(神経難病)		第2・第4週のみ (小児神経外来)
				関 晴朗		柳沢 俊郎



■ お知らせ ■

◆患者相談窓口
患者さんやお見舞いの方などからの苦情・相談については、『患者相談窓口』と『ご意見箱』で対応しています。なお、皆様にお知らせした方が良い内容のものは、外来掲示板に掲示しています。

◆当院受診について
他の医療機関に通院中の方は、主治医の先生に当院地域医療連携室を通して診療予約をとって頂いた上で来院願います。



発行元 **独立行政法人国立病院機構 いわき病院**
 National Hospital Organization Iwaki National Hospital
 責任者 吉 沢 和 朗
 所在地 〒971-8126 福島県いわき市小名浜野田字八合 88 番地 1
 TEL 0246-88-7101 FAX 0246-88-7075
 ホームページ <https://iwaki.hosp.go.jp/>